

# 平成 28 年度 第 1 回 西部ブロック研修会議事録

■日時：平成 28 年 9 月 25 日 14：00～16：10

■場所：すずかけセントラル病院

■参加人数：15 名

13：30 受付

14：00 自己紹介

14：10 1) 勉強会『自動車運転評価について』

聖隷三方原病院 作業療法士

中津川 沙也佳さん

14：50 2) 症例 1『クモ膜下出血により記憶障害を呈し社会復帰を目指した症例』

すずかけヘルスケアホスピタル 尾上 千晶さん

15：10 3) 症例 2『超皮質性感覚失語と思われる一例』

すずかけセントラル病院 小島 由希さん

15：30 4) 連絡／検討事項等

15：50 5) 終了

## 1. 勉強会

「脳損傷者の自動車運転評価～浜松地区～」

聖隷三方原病院 作業療法士 中津川 紗也佳先生



浜松地区の自動車運転評価に関して、事例を通して説明を行って下さいました。

### ・意見・質疑応答

・高齢者の方にとってシミュレーターは使用しにくいのでは？

→健常者や若い方でも慣れるのに時間を要する。高齢者は機器に慣れていないため大変。

・自動車学校での評価に同行する場合、リハビリとして点数をとっているか？

→現状では算定していない。自動車学校への患者が料金を支払っている。

・麻痺がある方や整形疾患・認知症の方の評価は行っているか？

→急性期のため評価は行っていないが、改造車等の情報提供は行っている。

- ・ 運転の可否に関して医師が責任を問われたことがあるか？  
→ 医師に可否の権限がないため、公安委員会への情報提供のみとなっている。
- ・ どのくらいの頻度で行っているか？  
→ 機器に慣れるため二日連続で行う場合もあり。
- ・ 公安委員会は免許取得に対して、積極的か？  
→ 病院のスタッフ等よりは消極的な印象。

## 2. 症例発表①

「クモ膜下出血により記憶障害を呈し外的補助手段定着を目指した症例」

すずかけヘルスケアホスピタル 言語聴覚士 尾上 千晶先生



重度記憶障害患者の入院生活での変化、外泊を繰り返し繰り返すことでの気づきと代償方法の獲得、退院時就労支援へ繋げて行ったという症例内容でした。

- ・ 意見・質疑応答
  - ・ メモの工夫や訓練内容はどのようなことを行ったか？  
→ メモの工夫に関しては患者自身が行っていた。記憶に対する訓練を実施したが効果は得られなかった。
  - ・ 同じ様な症状の患者がいたがメモの活用は難しかった。メモを整理する等のリハビリから行っていた。
  - ・ 意欲低下等はあったか？  
→ 意欲低下はなかったが、病識の低下があったため離棟があった。それを防ぐために注意課題のプリントを用いて行って貰った。病識が出てきて落ち着いた。
  - ・ 家人以外の周囲へ対応等の工夫は行ったか？  
→ 退院時にデイサービスの利用しそこで作業を手伝うことを勧めた。今後は作業所等へ繋げていく。

## 症例発表②

「超皮質性感覚失語と思われる一例」

すずかけセントラル病院 言語聴覚士 小島 由希先生



失語症評価から特徴からタイプ分類を行い、それに対するアプローチを行っている症例内容でした。

・意見・質疑応答

- ・発声発語器官の問題もあるのでは？失語症の根拠としたところはどこか？  
→評価結果ら発声発語器官だけの問題では説明がつかないものがあり、失語症の影響と判断した。
- ・評価結果としては点数が改善しているが、ADL での変化はあったか？  
→Ns コール等の使用が可能になったりしている。
- ・机上以外の訓練は行っているか？  
→お手玉等の使用して空間認知へのアプローチを行っている。
- ・構音の歪があるが、発語失行もあるのでは？  
→復唱の方が明瞭度が良いため可能性としてはあり得る。

### 3、アンケート

・回収率 13/13

① 勉強会「自動車運転評価について」

よくなかった 0 人 あまりよくなかった 0 人 ふつう 1 人 まあまあよかった 4 人 とてもよかった 8 人

・コメント

大きな会場では聞けないことがざっくばらんに聞けてよかった

参考になりました。当院でも取り入れていけたらと思います。

当院ではシミュレーターもなく、運転再開の希望があっても検査しかできないので、患者様自体の納得が得られません。自動車学校との協働について知ることが出来てよかったです。

運転希望の患者に対する認知検査をしています、その後は Dr をお願いしている状況です。自動車学校で厳しい評価をされても、公安で許可がでてしまう現状に少し驚きました。

自動車運転が問題のケースが実際多く試行錯誤しながらやっているのも大変参考になりました。

実際シミュレーターや運転場面にリハビリスタッフが立ち会うことで情報交換が密にできると思いました。とても参考になりました。

自分も同じような症例を回復期で担当しているのでとても勉強になりました。

他の病院でどのように実施されているかを知ることができ勉強になりました。

運転再開に向けた流れの確認が出来た。

② 症例検討

よくなかった 0 人 あまりよくなかった 0 人 ふつう 4 人 まあまあよかった 6 人 とてもよかった 3 人

・コメント

今回の質疑応答が充実していてよかったです。

異なる2ケースでアプローチなど興味深い症例だった。

若いスタッフをまとめる練習になってよかったです。

前を向いていると質問しにくく、もう少し机の向け方など今後は変えてもよいかもしれないと思いました。

全体構造法についての知識がなく、発表についていけませんでした。勉強不足で申し訳ないです。

全体構造法の説明について資料があったら分かりやすかったかもしれません。

もう少し質問時間が貰えればと思いました。

全体構造法に興味を持ちました。

③ 全体を通して

よくなかった0人 あまりよくなかった0人 ふつう2人 まあまあよかった7人 とてもよかった4人

・コメント

発言しやすい雰囲気がよかったです。

積極的な発言がでてたのでよかったです。

時間配分をしっかりと頂けると、より良かったと思います。

参加者は少なめだったが、臨床経験の長い方の参加もあり様々な意見が聞けて良かった。

症例検討会や勉強会など他の病院のスタッフの意見が聞けて参考になりました。

運転に関してのお話が聞けて良かったです。どこの病院でも課題になっているのではないかと思います。

生活環境によっては車は必須のところもあるので難しい問題とあると思っています。

少人数で発言しやすい雰囲気で良かったです。初めて参加しましたが、また参加したいと思いました。

④ 今後についての意見

全体構造法について知りたい。

症例検討の発表機会をまた頂けたらと思います。

失語の症例検討を継続していきたい。

各施設での訓練方法などを知りたい。

食形態段階について意見交換が出来たらと思います。

WAIS や SLTA の結果解釈について詳しく知りたい。

アンケートにお答え頂きありがとうございました。

今後のブロック会の参考にさせていただきます。

4、次回

来年予定

内容（症例検討等）

詳細決まり次第連絡致します。